

平成 30 年度 学校経営計画及び学校評価

1 めざす学校像

自らの個性・能力を磨き、激動する社会の変化に対応できる活力あふれる人材を育成する学校

1 基礎学力の充実を図り、主体的に学ぶ姿勢、学ぶ喜びや探究心を育む学校

2 人権意識、国際感覚を身につけ、豊かな人間性を育てる学校

3 教育活動の充実した地域から信頼される学校

2 中期的目標

1 基礎学力の充実を図り、進路実現を果たす学校

(1) 「わかる授業」を実践し、「21 世紀型学力」を育成する

ア アクティブ・ラーニングを推進し、生徒が主体的に学ぶ授業の充実を図る。

イ 研修等、様々な学びの機会の充実を図り、学習への意欲を高める。

ウ 次期学習指導要領を見据えたカリキュラム編成を行い、進路実現を支援する。

(2) 学ぶ喜び、探究心の育成を図る

ア 大学見学、先輩や外部講師に学ぶ機会を活用し、キャリア教育の充実を図る。

イ 自ら課題解決に向かう姿勢を育成する。

ウ 自学自習する姿勢を育み、主体的な学習者を育てる。

(3) 学校として進路指導体制を確立し、充実した進路指導をめざす

(4) 英語 4 技能の充実により、英語力を向上させ、知識に裏打ちされた「使える英語」の獲得をめざす

ア 英語暗唱大会、スピーチコンテスト等による speaking 力の育成

※ 授業アンケートの授業の肯定的評価 80%以上

※ 国公立大学、有名私立大学(関関同立)の現役進学率 40%以上

※ 学校教育自己診断「授業はわかりやすい」「教え方を工夫している」の肯定的評価 80%以上

※ 学校教育自己診断「学習時間を確保するよう努力している」70%以上

2 豊かな人間性の育成

(1) 人権感覚を育成し、他者理解のできる真のリーダーとしての資質を育む

(2) 国際交流を推進し、国際感覚を備えた人材の育成を図る

(3) 集団の中の個人として自覚を持って行動できる姿勢を育てる。

※ 学校教育自己診断「人権について学ぶ機会がある」80%以上

※ 国際交流、社会貢献等への満足度 80%以上

※ 遅刻数 3 年後目標 3000 件以下

3 地域から信頼される学校づくり

(1) 部活動、生徒会活動、学校行事等、生徒の主体的な取り組みを充実させる

(2) 地域連携の推進、社会貢献活動によりコミュニティーの一員としての意識を醸成する

(3) 広報活動を充実させ、本校の教育活動を発信する

(4) 学校組織（教員体制、運営方法等）の見直しを行い、教育活動の充実を図る。

※部活動加入率 90%の維持 生徒会活動、学校行事への満足度 90%以上

※地域連携活動、社会貢献活動の充実、満足度 80%以上

【学校教育自己診断の結果と分析・学校運営協議会からの意見】

学校教育自己診断の結果と分析 [平成 年 月実施分]	学校運営協議会からの意見

3 本年度の取組内容及び自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価
1 基礎学力の充実	<p>(1)「わかる授業」を実践し、「21世紀型学力」を育成する</p> <p>(2)学ぶ喜び、探究心の育成を図る</p> <p>(3)学校として進路指導体制を確立し、充実した進路指導をめざす</p> <p>(4)英語4技能の充実</p>	<p>(1)「わかる授業」の実践「21世紀型学力」の育成 ア アクティブ・ラーニングの推進 ・相互授業見学習慣の設定により、授業の研鑽を行い、授業改善につなげる</p> <p>イ 授業充実のための研修の実施 ・授業見学週間を導入し、相互研修を進める</p> <p>ウ 次期学習指導要領を見据えたカリキュラムの編成 ・PTにより、情報を収集し、検討に入る。</p> <p>(2)学ぶ喜び、探究心の育成 ①大学見学の実施、外部人材を活用した研修の実施 ②総合的な学習の時間における探究活動の検討 ③北千里の教育内容の全体図を作成し、指導の見える化を図る</p> <p>(4)英語4技能の充実 ①英語暗唱大会、スピーチコンテストを実施し、speaking力の充実を図る ②外部検定の活用を推進し客観的指標を作る、</p>	<p>(1) ア学校教育自己診断の肯定評価 「授業はわかりやすい」「教え方を工夫している」 75%以上(H29:71%)</p> <p>イ授業見学週間の実施、授業研修の実施(各1回)</p> <p>ウ会議の定期開催(8回)</p> <p>(2)①大学見学(1年次:1回) 進路講演会の実施(各学年1回) ②検討会議の開催(6回)</p> <p>(3)学校教育全体図の作成</p> <p>(4)①暗唱大会、スピーチコンテストの実施、生徒アンケート結果 肯定的評価維持 肯定的評価の維持 ②外部検定の実施 (1,2年各1回)</p>	
2 豊かな人間性の育成	<p>(1)人権感覚を育成</p> <p>(2)国際交流を推進</p> <p>(3)集団の中の個人としての自覚ある行動の育成</p>	<p>(1)人権感覚を育成 ・学校全体の研修、学年ごとのテーマ別研修を実施し、違いを認め合う意識を醸成する ・SNSに関する研修を全学年で行い、正しい情報発信力について理解させる</p> <p>(2)国際交流を推進 ・イギリス語学研修、台湾姉妹校交流を継続し、外国への関心、自国への意識、語学学習への意欲を高める</p> <p>(3)集団の中の個人としての自覚ある行動の育成 ・遅刻防止週間の実施により、遅刻をしない姿勢を育む ・校内清掃を充実させ、自分たちで快適な環境を維持しようとする姿勢を育てる</p>	<p>(1) 研修の実施、 学校教育自己診断肯定評価 85%以上(H29:81%) ・SNS研修の実施(1回)</p> <p>(2)国際交流の実施、 アンケートによる生徒満足度 90%以上(H29:100%)</p> <p>(3)遅刻数 昨年度の10%減 (H29:3592件) ・学校教育自己診断「校舎内の清掃は自分たちできれいになってきている」65%(H29:57%)</p>	
3 地域から信頼される学校づくり	<p>(1)部活動、生徒会活動、学校行事に主体的に取り組む姿勢</p> <p>(2)地域連携の推進、社会貢献活動により、コミュニティーの一員として自覚を高める</p> <p>(3)広報活動を充実させ、本校の教育活動を発信する</p> <p>(4)学校組織の見直しを行い教育活動の充実を図る。</p>	<p>(1)部活動の加入をすすめる、学校への所属意識を高める。 生徒会活動の自治をすすめる、自身で物事を解決する力、達成感を育てる</p> <p>(2)地域連携の推進、社会貢献活動 ・竹あかり、クリーン作戦、商店会秋祭りへの参加</p> <p>(3)広報活動を充実させ、本校の教育活動を地域に発信する ①学校説明会の時期や内容の見直しを行い、内容の充実を図る ②Webページの更新をこまめに行い、学校情報を積極的に発信する</p> <p>(4) ①ノークラブデーの確実な実施により、生徒・教員共にメリハリのある時間活用を進める。 ②会議のありかたを見直し、生徒に向き合える時間を増やす。</p>	<p>(1)部活動加入率90%の維持</p> <p>(2) 地域行事への参加 ・参加人数と満足度 満足度80%以上(H29:89%)</p> <p>(3) ①学校見学会参加者の満足度 70%以上 ②・学校教育自己診断の保護者満足度の維持(H29:75.6%) ・ブログ等の更新回数増</p> <p>(4) ①ノークラブデーの実施 ②資料の電子化の推進</p>	